



# 「水爆実験と遠洋漁業」本件関係被害者の座談会

(1954年4月16日高知新聞掲載)

## ◆出席者

- ・釣井高明(第11加取丸船主) ・坂本庫一(第11加取丸漁労長) ・中野時馬(第7孝栄丸船主)
- ・中野俊伸(第7孝栄丸船主) ・谷祐利(第7孝栄丸漁労長) ・岡崎守雄(第7孝栄丸機関長)
- ・柳原広(みさき丸漁労長) ・田原万年(室戸岬カツオマグロ協同組合)
- ・釣井祐一(室戸岬カツオマグロ協同組合) ・司会 中野本社東京支社通信部長

## ◆座談会

### ○本社

・ご存じのように3月1日第5福竜丸が指定された危険区域外で水爆爆発実験で吹っ飛んだ珊瑚礁の灰をかぶり人体に大きな被害をうけたわけですが、今度また、今日ご出席願った「みさき丸」が、これはビキニ島から2000km以上離れたところで軽微ながら被害をうけた。これは単に一漁船の問題ではなく遠洋漁業全般の危機、さらに世界的な反響を巻き起こす重大な事態になっています。その意味で皆さんの率直なご意見を伺いたいのですが。まず高知県の遠洋漁業の現状と言ったものを中野さんから。

### ○中野

・高知県の漁業は大半が遠洋カツオ・マグロ漁業で賄われているわけで、現在、大、中型漁船百五、六十隻、船員だけでも五千人くらいいます。戦前は型が小さくせいぜい内地から三、四千マイル程度の水域で操業していたのですが、戦後は船体も大型になり、今では北緯十五度、南緯十度、東経百十度、西経百七十度くらいの水域まで進出しています。この漁業は一隻一航海大体四十日前後で三百万から、七百万円くらいに上っているのです。今度の水爆事件には大いに影響を受けます。

### ○谷

・今は大体七十五トン型が多く、さらに大型化する傾向にあったけれど、今度の被害で漁をやっても採算が取れないということになると将来が不安ですね。

### ○本社

・この、浦賀ですが、これは高知県としては有力な遠洋漁業の基地になっていますが、ここの実情をひとつ。

### ○釣井

・室戸岬船主組合出漁団は、昭和十四年神奈川県三崎町を基地としていたが、翌十五年、浦賀、津呂、室戸、この三つの組合が合併して共同出荷を始めました。当時すでに石油購買、餌まで扱っていたが、その後戦争が激しくなるにつれて引き上げ、二十年夏事業から石巻市に出張所を設け、カツオをやり、冬事業はここを根拠地として水揚げは東京、三崎、横須賀、横浜、焼津の各港となっています。船は、大体岬の方が三十隻、室戸町の方もほぼ同数出入りしているはずです。

### ○田原

・昔はいろいろの品物を組合でやっていたが、今は石油の共同購買だけです。これだけでも全国で二、三の組合しかやっていないでしょう。その方面はこうやって頑張っているんですが、水爆事件ではホトホト困りました。農村には不作のとき政府は補償の措置を講じているのに漁業には何の手も打ってくれんですかね。

### ○本社

・ご家族も相当いるとの話ですが。

### ○田原

・十月から四月の盛漁期には野島沖で操業する船の家族は相当来ています。漁期の終わる五月、船が引き上げになるときに一緒に高知へ帰りますが、今年はこの調子じゃ魚も買ってくれんし、早くなりそうです。

### ○本社

・高知の船が活躍する南方漁業の実態というものを伺いたいのですが。今度の航海を中心にひとつ谷さんから。

○谷

・自分たちは、今回はミッドウェイの東海域で操業したが、思わしくないので南下して操業中、西経百七十三度、北緯十度二十分あたりで水爆被害の報を受けました。それ以後はその一から西には寄らないようにして操業を終わり、帰りも危険区域はもちろん農林省が大事をとって、もっと広く指定していた区域もはるかに迂回してきたのですが、そのために丸四昼夜損しています。おかげで船員は疲れるし、油は無駄にするし、その上帰ってきたら放射能事件で、魚価は半値というんだから、さんざんですよ。今日なんかうちの船の魚は買ってくれんですからね。例年だと花見時で年末と同じくらい高値を呼ぶのに、危険区域に近かったというだけだね。

○柳原

・十一月から四月頃までは北緯三十度以北にも魚はいる。われわれの船は三月八日に出港して、その辺で操業した後、西カロリン方面に行った。大体パラオ中心です。新南群島はいい漁場だが、船が多いし、区域も狭くて日本海くらいしかない。

○本社

・水爆の被害状況を具体的に。

○柳原

・位置としては当時ビキニから二千二百マイルも離れていたのが大丈夫と思って帰ってきた。帰りもほとんど真北の方向だから現場には絶対近寄っていません。それだから築地で船体の一部と私の頭や被服の一部に放射能があると聞いてびっくりした。海水や魚にはないことから、東寄りの風で一部分が来たのじゃないですかね。よくわからんが、こんなこっちゃあ、これからどうなるんですかねえ。恐ろしい。

○谷

・魚価の問題だけじゃなく、私の行った東の海域じゃ量が少なく、西のパラオ近海には少ないながら反応があるとすると、船は小さいし、行くところがなくなる。一時的にでも新南群島方向へ行く

ほかはないということになります。大体ここは鮮度もよく漁獲高もパーセントがよいんでね。

○中野

・私の船は、有害な被害はなかったが、私の船より倍も遠くにいた「みさき丸」が被害を受けている。おまけに獲った魚は半値ときたら、船主は船を減らすし、船員は出漁しても収入はないというわけで意気がなくなります。野島沖は自然の抵抗があるし。

○本社

・室戸の海福丸は七千五百貫獲ったうち五千貫しか合格せず、残りはわざわざ八丈島沖まで捨てて行ったわけですが、この際政府への〇〇とか、今後の出漁の見通しなどについて。※不明

○中野

・一番言いたいことは、政府は甘っちょろいですね。終戦後遠洋漁業もやっと立ち直って、さあこれから歩調をそろえてと意気込んだところだったのに水爆でおじゃんです。この際、県民の皆さんはじめ国民に言いたいのは原爆水爆などは早く辞めてもらうよう努力してほしいことです。武谷三男博士の話だと被害の予測は全くできんそうですね。事実我々が人体の被害だけでなく魚価の暴落で生命の危機にさらされているのに、アメリカは実験を続けている。こんなことは人道上、常識があればできん事だと思うのですがねえ。

○谷

・実験の禁止と同時に、政府に望みたいのは被害船の保障だ。

○岡崎

・漁業は経費と漁獲のつり合いが大切だが、その点理想的なのが危険区域に近いマーシャル近海です。それができんというのだから。

○中野

・公海ですからね。どこの国の人も操業する権利を持っているんですからね。その権利を圧迫するのは世界の人民を苦しめることです。

○本社

・いっそ、漁場を変えることはできないものですか。

○谷

・船の性能から言って不可能ですね。

○坂本

・漁場は季節によって違ってくるんで時期によってはマーシャル漁場は大切です。

○谷

・そりゃそうで。昨年十一月下旬みさき丸がその付近で大漁をやったんだから。

○本社

・具体的に方法を考えていますか。

○中野

・今のところ泣き寝入りです。世論もそこまでは高まっていないようで、ただ室戸岬の町議会で何か決議したというんだが。

○柳原

・北の方の魚は卵を持ってないが、南のは持っている。ここは黒潮の元祖ですからね。この卵を魚が食う。すると、もしこの放射能が永久に消えないとか、死んでしまうとかいうんなら魚全体の危険ということになりはしませんか。

○岡崎

・人間には危険区域と言ったら通用しても、魚は勝手に入ってゆくからね。

○中野

・被害はアメリカでも予想外だったんだから、魚類の保存とかなんとか目に見えんことがいくらか出てくる。

○谷

・何しろ生命の問題なんだから、船員組合、船主組合で大会でも開いて、また漁民大会でも開いて政府の弱腰をついて対米交渉をやることを要求するほかないね。

○柳沢（原）

・日本の政治家の中に、アメリカの実験に協力するとか言っている人がいるんだが、えらいひとの考えなんて、自分たちにゃわからん。われわれは死んでもかまわんろうか。

○谷

・国が弱い。それは我々が弱いからで、まず我々がやるべきだ。

○本社

・日本にも例えば日赤では、世界の赤十字の会議で島津社長が原爆、水爆の禁止を決議してもらって、国際法として立法してもらうよう国連に呼びかけるといった意見もあるように、当局と国民の考えが必ずしも一致するとは言えませんね。

○谷

・まあ、そういった大臣方は総理大臣でも外務大臣でも即刻辞めてもらって、我々のためにやってくれる人に出してもらうことだ。

○田原

・終戦後日本の水産業は農業と並んで大事な産業だが、その生命である漁場が荒らされている。このままだと三、四年もすれば魚はぜんぜん取ることができんことになって、そうなれば漁民だけでなく、日本全体の危機が来る。

○中野

・水爆は平和の道具だといっている学者もいるが、水爆は兵器だ。平和に役立てることはできるかもしれない。しかし、それよりも、兵器としてその威力で他国を圧して戦争は避けうるとしても、本当の平和は来ない。平等の精神にも反することだ。

○本社

・日本人の食料から魚が絶たれるとしたら栄養の点からも大問題で、その意味でも声を大きくして政府に善処を要望したいという言うところですね。

○中野

・そうです。今の科学で有害でないという魚は安心して食ってもらいたい。有害な魚をつくる実験なんかをやめてもらうということとは別として。

○谷

・我々としても、これからは小型のガイガー計数管を船に持ち込んで、漁場ですぐ調べてみる。そして反応があったら、そこはすぐやめて次の漁場へ移る。それくらいの科学性は良心的にも経済的にも持つべきだ。これはすぐ実行できることで、すぐ始めたい。

○本社

・ご意見も出そろったようですからこのあたり

